

2021年度活動実績

(一社)鎮守の森保全育成基金では、NPO法人社叢学会及び(一社)鎮守の森保コミュニティ推進協議会を通じて、全国の神社の鎮守の森保全育成支援や地域活性化支援など、各種支援を行っています。

【社叢学会の実施事業】

社叢学会では、主に「社叢見守り隊」の活動を通じて各地の神社の鎮守の森調査や整備支援を行っています。

〈社叢見守り隊〉

◎関東地域

2020年：御嶽神社・巖島神社・石神井台氷川神社・稲荷諏訪合神社・和田堀稲荷神社・大鷲神社(大黒天社)・王子神社・王子稲荷神社・装束稲荷神社・七所神社・平塚神社・小剣神社

◎近畿地域

2019年：兵庫県神戸護国神社・篠原巖嶋神社・河内国魂神社・平五郎稲荷神社・素佐男神社・稗田水神社

〈その他の事業〉

◎年次総会開催

◎定例研究会開催

◎「鎮守の森だより」定期発刊

【(一社)鎮守の森コミュニティ推進協議会の実施事業】

(一社)鎮守の森保コミュニティ推進協議会では、(一社)武甲山未来フォーラムの設立主体として、武甲山の未来を考える勉強会を開催しました。5月には陽野ふるさと電力(株)寺沢川発電所の運転開始を支援、神奈川県清川村での小水力発電勉強会や静岡県川根本町での「ふるさと絵本づくり」支援など、幅広く事業を展開しています。なお、埼玉県秩父市の弟富士神社には、鎮守の森整備活動に向けた資金の一部として基金からの助成金を支給する道筋をつけました。同神社では、陽野ふるさと会が定例的に社叢林の保全育成作業を行っています。近くの弟富士山頂には日本一とされる「さざれ石」があります。



テレビで紹介された小水力発電事業



鎮守の森整備活動